

一般演題口演 | 一般演題：教育(研修医,看護師,コメディカル)

■ 2024年7月19日(金) 14:20 ~ 15:15 ■ 第11会場 (宝山ホール 3階 第5会議室)

[O32] 教育(研修医,看護師,コメディカル)②

座長:木庭 雄至(社会医療法人財団 大和会 東大和病院 救急センター)、森田 正則(堺市立総合医療センター 救命救急科)

14:41 ~ 14:48

[O32-04] 消防職員を対象とした救急自主学習会の開催報告～インストラクショナルデザイン(ID)を用いた教授設計～*大石 奨^{1,2}、黒田 雪乃¹、柳井 敦吏¹、神田 貴秀¹、杉本 達彦¹ (1. 豊田市消防本部、2. 熊本大学大学院教授システム学専攻)

【はじめに】筆頭演者は、救急救命士専門学校で非常勤講師を務める。ここでの授業は、教授設計学であるIDで構築し、学生からは高評価を得ている。【目的】専門学校の授業内容を当市の消防職員にも広げ、救急に興味を持たせるとともに知識向上を目指す。【方法】勤務外の参加希望者に11回の学習会を行った。救急救命士標準テキストの持参のみを参加条件とした。授業と同じく学習目標を明示し、課題分析図のとおり進行した。事後アンケートで有用性などを測定した。【結果】参加者のうち8人から回答を得た。動機づけのARCSモデルでの7段階評価では①注意を引いた6.6,②関連付いた6.5,③自信が持てた4.8,④満足した6.8であった。自由記載では、教科書ではわからないなぜを解消できた、救命士を持って入った職員にとって非常に助かった、勤務で参加できないので遠隔で参加したいなどの意見があった。【考察】市内各署所の消防職員が集う機会は限られており、有効な学習の場を提供することができた。IDでの内容整理が理解度の促進に大きく関与したと考える。【結語】科学的理論に基づき教授設計したことで、効果的かつ魅力的な学習内容を構築できた。